

令和6年度

第1回

刈谷市在宅医療・介護連携推進協議会資料

令和6年5月15日

刈谷市役所長寿課

目次

(1)刈谷市在宅医療・介護連携推進事業について

- ① 在宅医療・介護連携推進事業の沿革について
- ② 本市の進め方について

(2)今回の協議事項について

- ① 令和5年度の事業実績報告と令和6年度の事業計画について
- ② 各団体の令和5年度の事業実績報告と令和6年度の事業計画について
- ③ 医療・介護多職種連携マニュアルについて
- ④ えんjoyネット刈谷について

(1)刈谷市在宅医療・介護連携推進事業について

①在宅医療・介護連携推進事業の沿革について(その1)

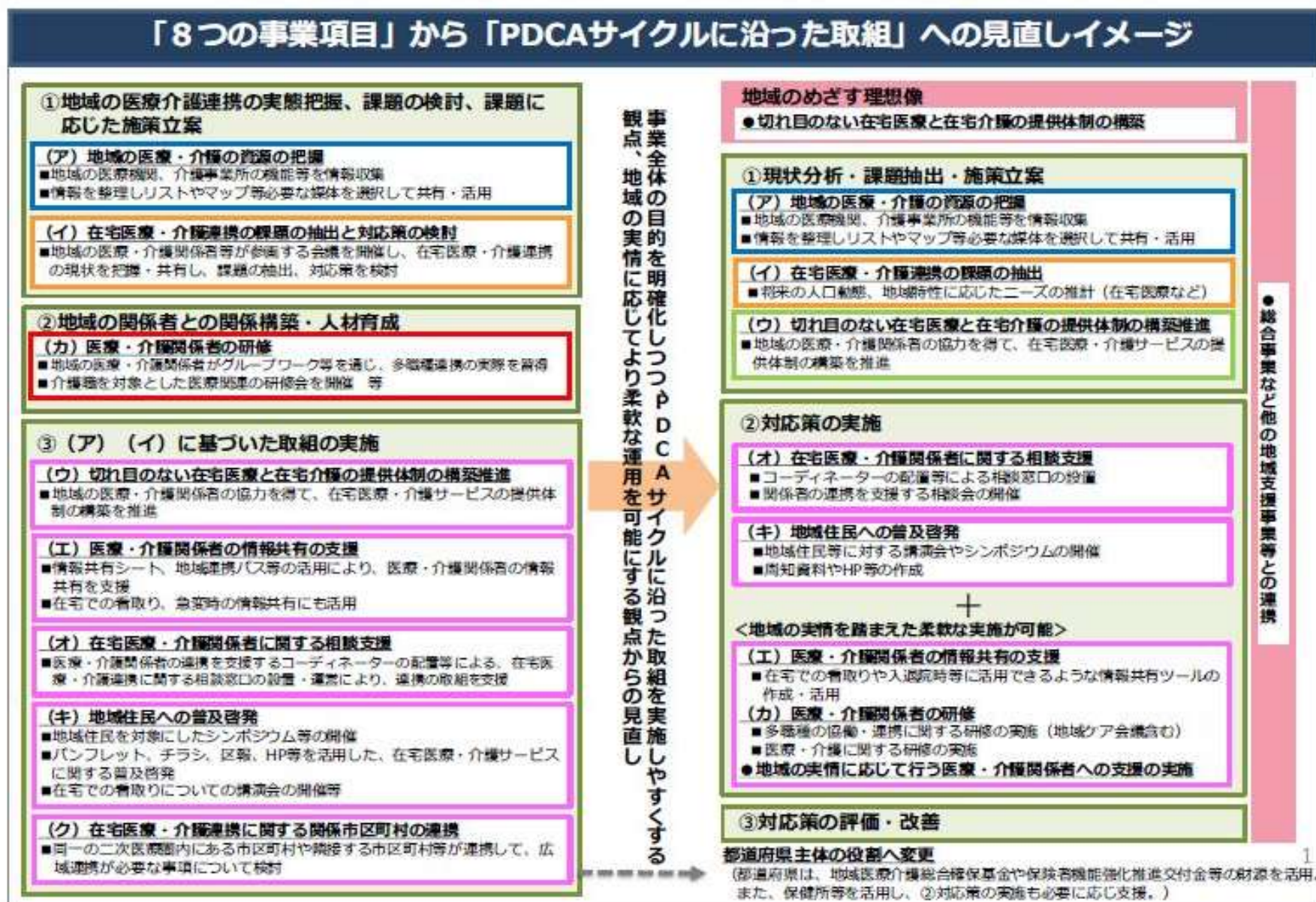
今までの、在宅医療・介護の連携に関する事業の主な動き

- 医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成 23・24 年度）により設置された拠点で、在宅医療において、医療側から介護への連携を図る取組を推進
- これらの知見を参考に、平成 25 年から、地域医療再生基金（平成 25～27 年度）及び地域医療介護総合確保基金（平成 26 年度～）等を活用し、地方自治体や医師会等の関係機関が連携して、地域の実情に応じた医療及び介護の提供体制を構築
- 平成 26 年に介護保険法が改正され、平成 27 年度から、市町村が行う事業として、地域支援事業の中に 8 つの事業項目で構成される本事業を位置づけ
- 平成 27 年度、「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針」において、地域包括ケアシステムの構築のために重点的に取り組む事項として、在宅医療・介護連携の推進が盛り込まれ、平成 30 年度からの、第 7 期介護保険事業計画においては、同時スタートとなる医療計画等との整合をとりながら推進
- 平成 30 年度には、全ての市町村で本事業を実施

(1)刈谷市在宅医療・介護連携推進事業について

①在宅医療・介護連携推進事業の沿革について(その2)

図 4 8つの事業項目の見直しイメージ (介護保険法施行規則改正イメージ)



(1)刈谷市在宅医療・介護連携推進事業について

①在宅医療・介護連携推進事業の沿革について(その3)

◆これまでの協議会検討事項等について

年度	主 な 内 容	項目
平成27年度	○講演「在宅医療・介護連携推進施策」 ※講師：国立長寿医療研究センター研究員 ○在宅医療・介護連携推進事業説明 ○関係機関アンケート ○ＩＣＴ（電子@連絡帳）導入検討	(イ) (エ)
平成28年度	○ＩＣＴシステムの選定 ○ＩＣＴシステムに関する利用規約等の協議 ○ＩＣＴの名称の決定 ⇒「えんじョネット刈谷」に決定 ○「えんじョネット刈谷」操作研修及び説明会	(イ) (エ)
平成29年度	○「えんじョネット刈谷」運用開始 ○在宅医療・介護連携に関する普及啓発パンフレット作成（2，500部） ○多職種研修「ＩＣＦ（国際生活機能分類）を学ぶ」開催	(イ) (エ) (カ) (キ)

(1)刈谷市在宅医療・介護連携推進事業について

①在宅医療・介護連携推進事業の沿革について(その3)

◆これまでの協議会検討事項等について

年度	主 な 内 容	項目
平成30年度	○刈谷医師会及び豊田会に業務の一部を委託開始 ○「えん」o y ネット刈谷」広域連携協定締結（H30.10.1付） ○多職種連携マニュアルについての検討	全ての 項目
令和元年度	○多職種連携マニュアルについての検討	
令和2年度	○多職種連携マニュアルの作成 ○多職種での活動内容共有 ○「えん」o y ネット刈谷」広域連携協定締結（R3.2.1付）	
令和3年度	○各団体の活動内容の共有 ○在宅医療・介護連携推進のための交流会	
令和4年度	○各団体の活動内容の共有 ○在宅医療・介護連携推進のための交流会	
令和5年度	○各団体の活動内容の共有 ○ACPの進め方について ○在宅医療・介護連携推進のための交流会	

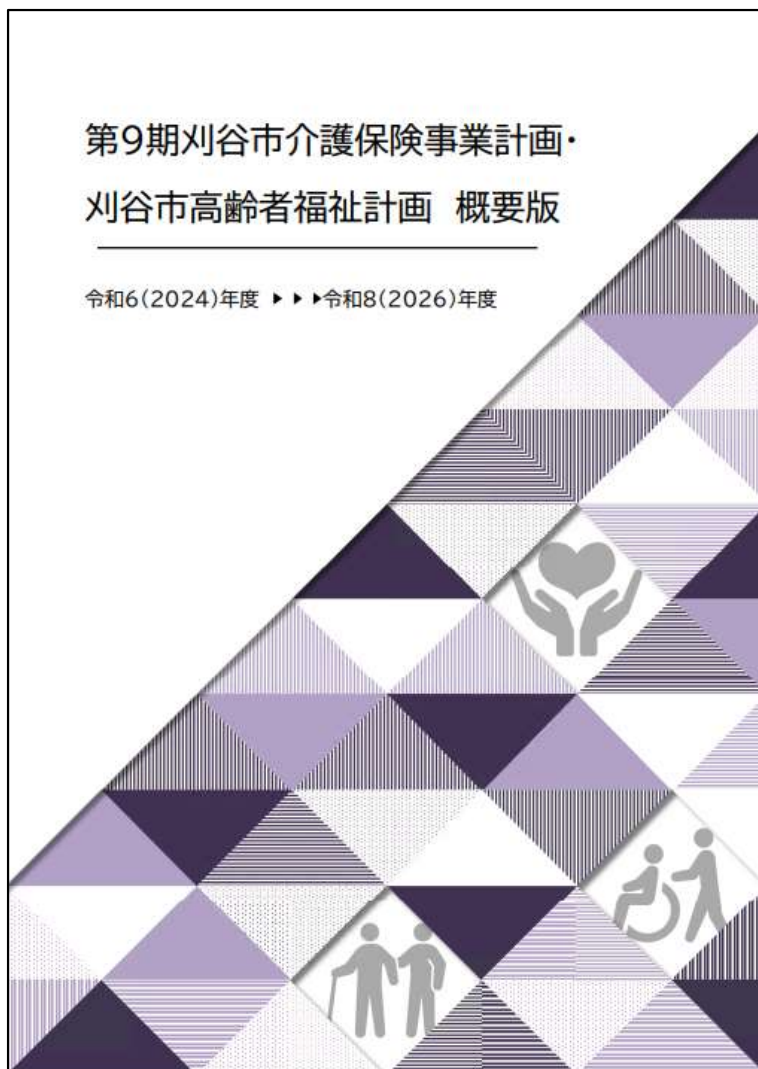
(1)刈谷市在宅医療・介護連携推進事業について

②第9期刈谷市介護保険事業計画

刈谷市高齢者福祉計画（令和6年度から令和9年度）

第9期刈谷市介護保険事業計画・ 刈谷市高齢者福祉計画 概要版

令和6(2024)年度 ▶▶▶令和8(2026)年度



基本目標3 在宅医療・介護連携の推進【シームレスライフ(Seamless Life)】

施策の方向	重点取組	具体的な取組
(1) 医療・介護連携のための基盤整備		①地域の医療・介護資源の把握
		②在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の立案
	重点	③切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
		④医療・介護関係者の情報共有の支援
		⑤在宅医療・介護連携に関する相談支援
(2) 医療・介護連携のための相互理解の促進	重点	①医療・介護関係者の研修
		②地域住民への普及啓発
		③在宅医療・介護連携に関する関係市等との連携

重点取組

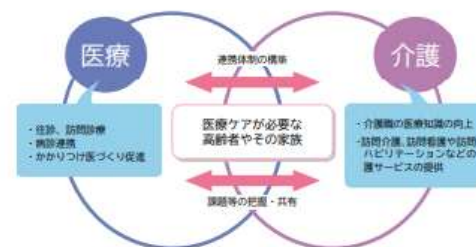
切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、支援が必要となる4場面（日常の療養支援、入院支援、急変時の対応、看取り）を中心に、切れ目なく一体的に在宅医療と在宅介護が提供される体制の構築に向けた取組を企画・立案します。
- 今後のさらなる高齢化を見据え、医師会等との連携のもとで、看取り等に関する取組や認知症高齢者への対応を強化するための取組について検討を進めます。
- 多職種連携マニュアルの周知・活用を促します。
- 多職種での交流会を開催し、多職種連携の推進を図ります。

医療・介護関係者の研修

- 地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でのグループワーク等の研修を行います。また、必要に応じて、地域の医療関係者に介護に関する研修会や介護関係者に医療に関する研修会等を開催します。

■在宅医療・介護連携体制



(1)刈谷市在宅医療・介護連携推進事業について

②本市の進め方について



刈谷市・知立市・高浜市

● 7項目のうち2項目

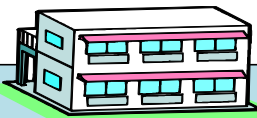
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

3市
委託

連
携

連
携

3市
委託



刈谷医師会

● 7項目のうち4項目

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発

連
携



刈谷豊田総合病院

刈谷・知立・高浜在宅医療・介護連携支援センター設置

● 7項目のうち1項目

- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
⇒ 刈谷・知立・高浜在宅医療・介護連携支援センター
- (1) 在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営
- (2) 医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応等
- (3) 地域包括支援センターとの連携

(2) 今回の協議事項について

①令和5年度の事業実績報告と令和6年度の事業計画について

項目	令和5年度の実績	令和6年度の計画
(ア)地域の医療・介護の資源の把握 【医師会委託】	●前年度のデータの更新等 →新規事業所へのアンケート調査、既存事業所は前年度データより更新箇所がないか調査を実施。	●前年度のデータの更新等 →新規事業所へのアンケート調査、既存事業所は前年度データより更新箇所がないか調査を実施。
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 【直営】	●刈谷市在宅医療・介護連携推進協議会の開催 →2回/年 ●刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携会議の開催 →2回/年	●刈谷市在宅医療・介護連携推進協議会の開催 →2回/年 ●刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携会議の開催 →2回/年
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 【医師会委託】	●レスパイトを含めた後方支援ベッドの確保 →在宅医療における後方支援ベッド提供病院のご案内について協議し、関係機関へ配布。	●多職種との交流会 未定
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援 【直営】	●えんjoyネット刈谷の運営管理 ●多職種連携マニュアルの改訂 ●刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携マニュアルの改訂	●えんjoyネット刈谷の運営管理 ●多職種連携マニュアルの改訂 ●刈谷豊田総合病院と介護支援専門員との連携マニュアルの改訂
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援 【豊田会委託】	●刈谷・知立・高浜在宅医療・介護連携支援センター開設・運営 →相談件数34件(うち刈谷市在住者に関する相談は20件)	●刈谷・知立・高浜在宅医療・介護連携支援センター運営 →支援センター利用促進のためのPR活動等実施
(カ)医療・介護関係者の研修 【医師会委託】	●在宅医療・介護者のためのコミュニケーション研修 →55名 ●在宅医療介護連携研修会 →「在宅療養中に頻出する褥瘡についての知識を深める」 44名	●テーマの検討と研修会の実施 未定
(キ)地域住民への普及啓発 【医師会委託】	●がんばらない介護の講座→53名参加 ●啓発のための出前講座及びいきいきクラブ1日研修の実施 →501名 ●パンフレット(「もしも」のときの医療・ケアについて)配布	●啓発のための出前講座の実施。 →在宅医療に関する講座

(2) 今回の協議事項について

①-1 在宅医療・介護連携推進のための多職種交流会についての報告

目的	多職種協働により、患者が住み慣れた地域で、自身の思いを伝えられ、その意思を支援者がつないでいけられるよう、顔がみえる関係を構築する
内容	ACPに関する様式や情報の活かし方を考える交流会 ・それぞれの立場で、ACPについて感じる課題 ・もしも手帳(仮)に関わらず、どのような媒体や情報があると支援につながられるか
参加職種	医師、訪問看護師、看護師、主任ケアマネジャー、ケアマネジャー、訪問介護士:計20名
参加後の意見	・ACPを多職種の各意見を伺えるので参考になった。 ・導入のタイミング、話すきっかけを改めて考える機会になった。 ・多職種と話し合いができてよかった。ACPは在宅での看取りの際には必要だと思う。 ・多職種がACPについて感じている問題点を共有し、話し合うことができ、ケアマネとして関われるところに気づくことができた。 ・ACPを考えるいいきっかけになった。実際どう活用していくのか多くの課題を感じた。



(2) 今回の協議事項について

①-2 もしも手帳(仮)の作成

現状

ACPIについて話すタイミング

がん末期だと最期のADL低下前、状況が変わったら都度確認、訪問看護契約時、在宅医に切り替えるとき、ケアマネ初期介入時など

難しさ

本人は自宅で最期を迎えたくても、家族に遠慮して言えないこともある

本人の意見が確認できないことも多い

家族それぞれの意見もバラバラで思いのすれ違いがある

今後

元気なうちから家族同士が自然に話し合えるようになると良い

お薬手帳型はよい



それぞれ関わるタイミングで思いを確認できるよう、
持ち歩ける手帳サイズの様式を作成

(2) 今回の協議事項について

②各団体の令和5年度の事業実績報告と令和6年度の事業計画について

別紙：令和6年1月17日開催時の各団体の取組の進捗状況参照

(2) 今回の協議事項について

③医療・介護多職種連携マニュアルについて

変更事項	
2、3ページ	第9期刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画内容に変更

(2) 今回の協議事項について

④ えんjoyネット刈谷について

◆ えんjoyネット刈谷登録者数等の報告について

項目	R5.4.1	R6.4.1
病院・診療所	16件	17件
歯科診療所	8件	8件
薬局	17件	16件
訪問看護	19件	23件
療法士施設	2件	2件
居宅介護支援事業所	35件	32件
訪問介護事業所	8件	9件
訪問入浴	1件	1件
通所介護事業所	18件	18件
保健所	1件	1件
短期入所	1件	1件
包括支援センター	7件	7件
その他	6件	6件
施設数	139件	141件
利用者数	328人	356人
記事数	9681件	12091件
患者数	311人	360人

えんjoyネット刈谷について、
電話・訪問等により登録支援
を行いました。
今後も希望があれば訪問等
により登録支援を行います。

(2) 今回の協議事項について

④ えんjoy ネット刈谷について

共有情報について

1. 介護認定審査会の審査結果
2. 見守り安心機器貸与事業における安否確認情報等

(3) その他

協議会の次回の予定

日 時 令和7年1月15日(水) 13:30～

場 所 刈谷市役所1階 101会議室

議 題 ○多職種連携について 等